

# 平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

## 【報告】

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」を中心に、現地学習や実習を交えたプログラムの充実や生涯学習センター以外の市内コミュニティ施設での講座実施など、市内の大学や市民団体、民間企業等と連携し、多様な学習機会の提供に努めた。あわせて市民講師（ご近所先生）やボランティア団体の生涯学習センター事業への参画を積極的に図り、学習成果を生かした市民の社会参加を支援した。メディアプラザでは、市民ニーズを踏まえ、メディアプラザの蔵書を市内の各図書館でも貸出しや返却が出来るよう、札幌市図書館とのシステム統合を行い、平成 28 年 10 月 27 日からサービスを開始するなどの取組を進め、来場者は過去最高の 208,855 人となった。また、貸室申込みについて、申込用紙をシステムから出力することで、手書部分が大幅に軽減される貸室システムを開発し 9 月から稼動した。さらに、生涯学習センターの利用者等への飲食提供や交流促進、新たな利用者層の開拓につなげるため、旧レストランスペースを「ブックカフェスタイル」に改修し、Chie Terrace（愛称：ちエテラス）とタリーズコーヒー札幌ちえりあ店が、12 月 17 日にグランドオープンし利用者から好評を得た。

青少年科学館では、4 月にプラネタリウムがリニューアルオープンし、多くの市民に観覧していただいた。繁忙期は、通常より上映の回数を増やすなどの臨時対応を行い、プラネタリウム観覧者は前年度より約 5 万 4 千人増の約 14 万 2 千人となった。

学校教育との連携の推進としては、団体利用の小学校を対象にした「学習サイエンスショー」の実施、また市教育センターと連携し、授業などに活かせる観察・実験の実習を行うなど教員研修の充実を図った。特別展については、夏は道内で発掘された恐竜をテーマに、冬は「小さな世界をみてみよう」をテーマに顕微鏡などの世界を展示した。実施にあたっては館のネットワークを生かし、大学や博物館、企業の協力を得て展示内容の充実を図った。また、春の特別展ではお祭り屋台が立ち並ぶ雰囲気の中で、電磁石を使った魚釣りや空気砲などで楽しみながら科学に親しむ機会を提供した。なお、札幌市天文台では、看板の設置や専門性の高い解説など来台を促す様々な取組を進めた結果、来台者数は前年度を大きく上回り、多くの市民に星空観賞の機会を提供した。

# 公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第 4 条各号に掲げる事業)

## I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

### 1 学習機会提供・活動支援事業

#### (1) さっぽろ市民カレッジ

年間を 3 期（4～8 月、9～12 月、1～3 月）に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系を合わせて 297 講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生（市民講師）の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、高校生と大人と一緒に学ぶ＜学社融合講座＞では、受講生同士の世代を超えた交流を図った。

#### ア 市民活動系

市民活動系の講座では、地域での実践を想定して現地学習を取入れ、必要な知識や手法、様々な事例紹介を行う講座を企画した。

「高齢者と新密度を高める『思い出』トーク」や「おいしいエゾシカ学」では、博物館の学芸員や大学院生、地方の「まちづくり協力隊」などの実践者が参加する専門的な講座となった。「水を運ぶ！トンネルプロジェクト」では、ダムやトンネルなど土木への興味を入り口とし、社会との関わりやまちづくりへの興味をもつきっかけとなる内容になった。



#### イ 産業・ビジネス系

職業能力を向上させるための知識や手法を中心に講座を実施した。

「資料整理術」「究極のリーダーシップとは」は、就業前の朝の時間帯に大通にあるカフェで実施し、多数の受講者が集まり好評を得た。

ほかにも、中央図書館と連携して時代の変化に対応した新たなビジネスを生み出す着眼点について学ぶ「調べてわかる！タイの文化」や、実際の店舗（コミュニティカフェ）を講座会場にして店づくりの計画を検討する「本気でお店づくり」など、内容の充実を図った。



## ウ 文化・教養系

趣味・教養講座などでは、内容の充実につとめ市民の学習意欲の向上を図るとともに、継続的な学びの場を提供し、幅広い年齢層に向けた講座を実施した。また、現在行われている中学・高校の学習内容を学び直す「学び直しシリーズ・もっと知りたい！政治経済」や、ゆりかごコンサートと連動した子育て支援に関する「新米パパのベビーマッサージ」など、時代の変化に対応するための内容の工夫を行った。

ちえりあ学習ボランティア企画講座では、最先端の科学技術や健康問題、国際交流、北海道ならではの歴史や文化を紹介するなど幅広い分野の講座を企画した。

市立札幌大通高校を会場に行われる学社融合講座では、さらなる内容の充実と世代間交流を図るため、教員・生徒への講座ニーズ調査を行った。

ご近所先生企画講座では、マスコミに取り上げられたことも影響し「指ヨガでリラックス」に定員を大きく超える申込みがあったり、「2時間でつくるパン屋さんのメニュー」では30代女性の申込み数を大きく増やしたりした。

### 【実績】 さっぽろ市民カレッジ講座内訳 (括弧内は前年度実績)

	生涯学習 センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講者数計
市民活動系	22 (24)	9 (10)	— (—)	— (—)	31 (34)	487 (477)
産業・ ビジネス系	27 (26)	8 (6)	— (—)	— (—)	35 (32)	451 (436)
文化・ 教養系	48 (56)	12 (12)	15 (17)	156 (154) ※地域会場：23 (23)	231 (239)	3,950 (4,255)
合計	97 (106)	29 (28)	15 (17)	156 (154)	297 (305)	4,888 (5,168)

(※地域会場：区民センター・地区センター等)

## (2) 生涯学習関連講座

市民の多様なニーズに対応するため、大学・企業などと連携し、その機能や専門性を生かした講座を実施した。また、市民の生涯学習活動を支援するため、行政と連携し、生涯学習センターの持つノウハウを生かした講座を実施した。



### ア 大学などとの連携事業

大学と連携し互いの特性を生かした講座を実施し、学びを通じた世代交流、異年齢学習の推進を図った。

#### 【実績】 札幌市立大学3回、北海学園大学1回、北海道教育大学4回

(前年度 札幌市立大学3回、北海学園大学1回、北海道教育大学5回)

#### 札幌市立大学連携講座

「札幌の文化財建造物をたどる<夏>リニューアルした豊平館を知る」ほか

## イ 行政機関連携講座

生涯学習センターが有する企画・運営のノウハウを生かし、高齢者対象の「東区年輪大学企画運營業務」「西区ときわ大学企画運營業務」をそれぞれ受託し、実施した。

【実績】「東区年輪大学」16回35名（前年度16回52名）

「西区ときわ大学」15回50名（前年度15回50名）

## ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。

講師派遣や会場の無償提供など連携の幅を広げた。

【実績】7講座112名

「森の学校」（アサヒビール株）9名

「ミルクの秘密！探検隊」（雪印メグミルク株）20名

「親子でバター作り」（雪印メグミルク株）23名

「子どもラーメン道場」（東洋水産株）10名

「ダシの秘密」（東洋水産株）23名 ほか



## エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や各種学会・協議会などと連携し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。

【実績】8講座143名

7/2(土)「ちびっこマジック教室」

((公社)落語芸術協会) 22名

11/19(土)「おいしいエゾシカ学」

((一社)エゾシカ協会) 14名 ほか



## (3) 生涯学習普及事業

### ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館（平成12年8月）を記念して行っている「ちえりあフェスティバル」では、館内の4施設（生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ宮の沢）が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。



【実績】8/20(土)～21(日)2日間延べ12,857名（前年度2日間18,639名）

・ロビー特設ステージでのコンサート、ショー

・各種講座、サークル活動体験コーナー ほか

## イ ちえりあ映画会

生涯学習センター所蔵の映像教材の活用と映画を楽しむ機会を提供するための「ちえりあ映画会」を行った。ボランティア団体「ムービー北海道」の協力を得て、視聴覚障がい者も鑑賞できるよう副音声や字幕付きの作品も上映した。

また、5月24日の親子映画会「うごくえほんチルビーであそぼ」では、札幌市えほん図書館とコラボし、作品上映のほか、読み聞かせ、クイズなどを行い子どもたちから好評を得た。

また、夏休みと冬休みの期間には子ども向け作品を上映した。

札幌市図書館とのシステム統合の際には、ドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」を上映したり、Chie Terrace（ちえテラス）オープン記念イベントとして「ミニ映画会」などを開催したりして、利用促進につなげた。

**【実績】** 21回（内ちえテラス8回）3,588名（前年度10回2,472名）

大人向け9回2,574名「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」ほか

子ども向け4回923名「不思議の国のアリス」ほか

Chie Terrace映画会8回91名「チルビー」「坂本竜馬の生涯」ほか

## ウ オペラシアター

世界一流のオペラを鑑賞しながら、それにまつわる幅広い知識や教養を身につけるため、生涯学習センター所蔵のDVDの上映と専門家の解説を組合せた講座を実施した。

**【実績】** 6回886名（前年度6回629名）

「トゥーランドット」ほか

## エ ちえりあ映像フェスタ

北海道や札幌をテーマに市民から公募した映像作品や視聴覚センター制作作品の上映会にあわせて、コーディネーター（北海道教育大学教授/伊藤隆介氏）による講評を行い、地域の魅力について考えるきっかけとした。



**【実績】** 3/4(土)応募15作品、来場者118名（前年度 応募18作品、来場者173名）

## オ ちえりあ講演会

生涯学習活動の普及啓発を図るとともに、さっぽろ市民カレッジをはじめとする事業の紹介を行うため、市民が興味・関心を持つと思われるテーマの講演会を開催した。

**【実績】** 1講演113名（前年度1講演180名）

8/21(日)世界の短編映画が世の中の見方を変える」

講師：マーケティングプランナー 臼井栄三氏

プロデューサー 久保俊哉氏



## カ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもに気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きをあまり気にせず鑑賞できるコンサートを開催した。

【実績】2公演425組850名（前年度2公演485組970名）

8/20(土)出演：打楽器アンサンブル

coup de baguette 138組276名

12/22(木)出演：リトミック あみゆぜ 287組574名



## キ CDコンサート

生涯学習センター所蔵のCDと再生機器を活用し、良質な音響環境で音楽に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出CDの利用促進を図った。

具体的にはクラシック以外に、ジャズや歌なども取り上げることにより、新規の参加者を獲得した。

札幌市図書館とのシステム統合後、10月27日のメディアプラザ再オープンの際には、クラシックとジャズを取上げたCDコンサートを開催するとともに、Chie Terrace（ちえテラス）オープン記念イベントとして「ミニCDコンサート」などを開催し、利用者促進につなげた。

【実績】22回（内ちえテラス8回）463名（前年度12回323名）

アンドレア・ボチェリ「シネマ ～永遠の愛の物語」ほか

Chieterrace CDコンサート 8回69名

## ク 北海道吹奏楽フェスティバル

（共催：北海道吹奏楽プロジェクト）

若手プロ奏者たちによる演奏会に合わせ、小・中学校・高校・大学の吹奏楽部に公開レッスンを行うレクチャーコンサートを開催して、吹奏楽活動を支援し、その普及を図った。

【実績】2公演977名（前年度2公演982名）

1/22(日)371名 1/29(日)606名



## ケ カルチャーナイト

（主催：カルチャーナイト実行委員会）

夜間、公共施設などを開放し、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る札幌市主催の「カルチャーナイト」に参加し、子ども向けイベント「アンモナイトのレプリカをつくろう！」を1階ロビーで実施した。

【実績】1回150名（前年度1回76名）

7/22(金)「アンモナイトのレプリカをつくろう！」



#### (4) 文化振興事業

日本の古くからの風俗・習慣・人情を学び、日本の伝統芸能への理解を深めるきっかけづくりを行う一連の落語事業を実施した。

##### ア 落語学校鑑賞会

中央区、西区、手稲区の小学校 10 校の児童を無料招待し、学校鑑賞会を実施した。

内容は、落語、色物の鑑賞のほか、鳴り物の解説を行った。



【実績】 7/4(月)～5(火)4公演1,320名 (10校)

(作年度4公演1,443名(9校))

招待校：西野小、手稲東小、山の手南小、西小、西園小、発寒西小、  
中央小、資生館小、緑丘小、二条小

##### イ 特選若手落語会

次代を担う若手落語家の公演会を開催し、市民が気軽に落語を楽しむことに加え、若手落語家の育成などの機会を提供した。

【実績】 7/3(日)316名 (前年度335名)

主な出演者：三遊亭遊雀、立川談幸

##### ウ ちえりあ寄席

寄席囲いをしつらえた舞台上、真打はもとより、道内で唯一、前座、二つ目、色物も出演する本格的な寄席を鑑賞する機会を提供した。



【実績】 9/29(木)～10/2(日)6公演1,930名

(前年度4公演1,390名)

主な出演者：春風亭昇太、三遊亭小遊三、春風亭昇々、立川談幸 ほか

##### エ ちえりあ学生寄席

「ちえりあ寄席」の舞台を活用し、伝統芸能としての落語などを学ぶ学生（北海道大学落語研究会）に取組みの成果を発表する機会を提供した。



【実績】 7/31(日)ミニちえりあ学生寄席 40名

9/28(水)129名 (前年度195名)

##### オ 落語体験付きレクチャー公演

落語の世界とその魅力や鑑賞方法などを学んでもらうため、出演者による解説形式の公演を実施した。

【実績】 7/2(土)「教えて師匠！初めての落語ライブ」168名

## (5) 学習活動支援事業

### ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体に学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

**【実績】 作品展示 11/12(土)～18(金)参加16団体**  
**舞台発表 11/15(火)～17(木)参加57団体、**  
**観覧 2,059名**  
(前年度 展示：参加19団体、  
舞台：参加56団体 観覧者1,796名)



### イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらう機会を提供した。

**【実績】 12回参加12団体、来場者1,428名**  
(前年度12回参加12団体来場者1,823名)



### ウ 幼稚園児のお絵かき展

(一社)札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の活動発表の場としてロビーで作品展を開催した。期間中は園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど館内に明るい賑わいが創出された。

**【実績】 参加12園1,813作品**  
(前年度 参加14園1,789作品)



### エ アートウォール作品展示

ロビーの壁面を活用し、市民から募集したアート作品の展示を行うことで、芸術活動に取り組む市民に発表の場を提供するとともに、来館者にアート作品鑑賞の機会を提供した。

**【実績】 11作品 (前年度11作品)**

### オ ロビー展示

ロビーやギャラリーでさっぽろ市民カレッジ受講生の作品展などを行い、学習成果発表の機会提供と学習意欲向上を図った。

**【実績】 18件 (前年度9件)**

## 2 学習支援者活用・育成事業

### (1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

#### ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会と交流会を実施した。

【実績】研修会4回 参加者180名（前年度4回159名）

講師交流会1回 参加者37名（前年度1回50名）

#### イ 生涯学習ボランティア育成事業

##### (a) ちえりあ学習ボランティア

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」に、活動の場と知識やノウハウを実践的に学ぶ機会を提供した。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者50名  
（前年度55名）

##### (b) メディアボランティア・オンデマンド

視聴覚教育に精通する教員OBで構成されるメディアボランティア「オンデマンド」に、16ミリフィルム及び映写機の使用方法を一般市民に伝える講習会の場を提供するなどして、活動を支援した。

【実績】「オンデマンド」登録者7名（前年度7名）

16ミリフィルム上映体験講習会2回6名（前年度2回27名）

6/25(土)3名、12/4(日)3名

#### ウ 職場体験などの受入れ

職場体験の実習生を受け入れ、さっぽろ市民カレッジの企画、立案、運営などを体験する場を提供した。

【実績】8校27名（前年度7校31名）

6/2(木)手稲東中学校 5名

6/10(金)北海学園大学 11名

8/20(土)～21(日)、11/15(火)～16(水) 北翔大学 1名

8/25(木)～31(水)北海道大学 2名、札幌市立大学 1名

9/28(水)豊明高等養護学校 1名

11/18(金)稲積中学校 3名

12/8(木)大阪市立鶴見商業高等学校 3名

#### エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援を担う施設職員の資質向上を図るため、事業の企画立案や広報



などに必要な知識やノウハウを身につける研修を実施した。

【実績】2回20施設42名（前年度2回26施設51名）

2/8(水)22名、2/17(金)20名

#### オ 学校図書館司書業務マニュアル制作・研修業務【新規】

札幌市の学校図書館司書を支援するため、生涯学習センターの職員が有する図書に関する専門性やコーディネート力、研修の企画・運営のノウハウを生かして、業務マニュアルの制作や研修を実施した。

【実績】8/23(火)平成28年度学校図書館司書研修15名

「学校図書館司書スタートブック（業務必携）」製作

### (2) ボランティア等活用事業

#### ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に対して、学んだ成果を生かしてもらうため、生涯学習センター事業や地域での活動の場を提供し、支援を行った。

##### (a) ちえりあビデオクルー

映像メディア講座受講修了者で結成されたグループに、生涯学習センター事業、地域の活動・行事、自然風景などのビデオ撮影・編集を依頼し、生涯学習センターのホームページで作品を発信した。

具体的には「ちえりあ寄席」のCMを作成し、市内マルチビジョンで放映した。

このことを通して活動のスキルアップを図り、該当する講座の講師も務めてもらった。

【実績】登録者数22名（前年度21名）

##### (b) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座の受講修了者を対象に実践的な活動に必要な知識やノウハウを学ぶ機会を提供し、あわせて該当する講座の補助講師を務めてもらった。

【実績】登録者3名 登録者必須講座修了者3名

（前年度 登録者3名、講座受講者4名）

##### (c) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに該当する講座の運営補助を務めてもらった。また、施設慰問コンサートを実施した。

【実績】登録者「コスモス」10名（前年度10名）

「プリティボイス」14名（前年度14名）



#### (d) カメラボランティア

さっぽろ市民カレッジのカメラボランティア講座修了者によるサークルに生涯学習センター事業の写真を撮影してもらい、広報誌や事業概要などに活用した。

【実績】登録者「ハピネス」8名（前年度7名）

「you快」5名（前年度6名）



### 3 生涯学習センター管理運営事業

#### (1) 施設の貸与

##### ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を提供した（有料）。申込時の利用者の利便性を高めるため、新たな貸室受付システムを9月より本格的に導入した。

【実績】貸室利用件数14,869件、利用率82.9%

（前年度 貸室利用件数14,512件、利用率80.7%）

##### イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビー及びギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

【実績】ロビー利用件数31件（前年度17件）

ギャラリー利用件数13件（前年度25件）

##### ウ 学習のための施設開放

空き室を学習の場として開放するなど、有効活用に努めた。

【実績】夏季期間中（7/21(木)～8/17(水)11日間250名（前年度11日間251名）

冬季期間中（12/20(火)～3/15(水)37日間839名（前年度40日間761名）

##### エ 公共目的事業の共催

当財団の公益目的事業の趣旨に沿う、市民による映画上映会などの外部団体による事業について共催し、広報や会場使用料の減免などの協力や支援を行った。

【実績】共催事業2件（前年度4件）

#### (2) 学習相談・情報提供

##### ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザでの学習相談を始め、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

あわせて、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を配布した。

**【実績】**メディアプラザ学習相談13,803件（前年度15,148件）  
ちえりあ市民講師バンク登録者数177名（前年度149名）  
サークル登録152件（前年度149件）

#### イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設などに配布した。

**【実績】**6回発行（5月、7月、9月、11月、1月、3月）各回12,000部  
（前年度 6回発行 各回12,000部）

#### ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、生涯学習センターの事業を紹介した。

また、12月にホームページリニューアルを行い、「見やすさ」「使いやすさ」「探しやすいさ」を向上させ、「便利で役立つ」情報提供を図った。

**【実績】**ホームページアクセス数1,097,394件（前年度1,217,662件）

#### エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、大学、民間カルチャーセンターなどで実施している講座の情報をまとめ、市民に提供する冊子を発行した。今年度からは情報提供を呼びかける施設数を増やし、冊子内に添付した二次元バーコードによりスマートフォンなどで各情報提供元のホームページに手軽にアクセスできるようにした。

**【実績】**2回発行（6月・11月）各3,000部（前年度2回発行 各3,000部）

#### オ 「子どもの学びガイド」の発行

学校休業日に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシを発行し、市立小学校の全児童に配布した。今年度からは、夏休み前と冬休み前に2号ずつ発行し、チラシ内に添付した二次元バーコードにより、スマートフォンなどで各情報提供元のホームページに手軽にアクセスできるようにした。

**【実績】**4回発行（6月、7月、11月、12月）各93,000部  
（前年度4回発行 各93,000部）

#### カ メディアプラザ情報提供事業

メディアプラザ内にパソコンを設置し、生涯学習センターが所有する北海道や札幌の文化・暮らしなどに関する映像教材を自由に視聴できる環境を整えた。

**【実績】**映像教材2作品

#### キ 調査研究事業

全国の事例を集め、札幌市にふさわしい生涯学習情報の収集方法及びウェブサイトの形態を検討し、ウェブサイトのデザインや運営方法について提案する報告書をまとめた。本調査は2カ年計画であり、平成28年度は1年目の研究報告である。

## ク 利用者などの声を生かす取組み

### (a) 生涯学習センター運営協議会

今後の管理運営に生かすため、利用者の代表や学識経験者などによる協議会を開催し、生涯学習センターの事業を検証した。

【実績】3回（前年度3回）

### (b) 利用者アンケートの実施

利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを2月～3月に実施し、総合満足度は約88.8%と、高い評価を得ることができた。

【実績】回収数519枚（前年度610枚）

総合満足度88.8%（前年度85.6%）

## (3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出、資料収集並びに管理運営

### ア メディアプラザ運営事業

広く学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集と貸出や資料紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行った。

市民ニーズを踏まえ、メディアプラザの蔵書を札幌市図書館でも貸出・返却できるよう札幌市図書館とのシステム統合を進め、10月27日からサービスを開始した。

【実績】来場者数208,855名（前年度198,648）

利用者数69,788名（前年度75,694名）



### (a) 図書閲覧・貸出

生涯学習に役立つ図書の閲覧と貸出を行った。札幌市図書館とのシステム統合のため、9月1日から10月26日までメディアプラザで蔵書している図書の貸出・閲覧を中止し、10月27日からサービスを再開した。札幌市図書館蔵書の取次サービスにも対応した。

【実績】貸出冊数59,419冊※9/1～10/26休室（前年度68,140冊）



### (b) 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシックを中心とした音楽教材などを収蔵する図書館として、音楽・映像・語学教材（保有数28,931点）を館内での視聴に供した。

また、CD（保有数約1万2千点）の館外貸出を実施した。札幌市図書館とのシステム統合準備のため9月1日から10月26日までCDの貸出・視聴を中止し、10月27日からサービスを再開した。過去に実施した特集やコンサートの資料を展示するコーナーを設けるなどし、貸出数の増加につなげた。

**【実績】** <館内貸出> 音楽教材1,160件（前年度1,436件）

映像教材4,184件（前年度3,340件）

語学教材3件（前年度9件）

**(c) Chie Terrace事業**

旧レストランスペースの客席を「ブックカフェスタイル」に改修し、12月17日に「Chie Terrace（ちえテラス）」としてオープンした。ちえテラスでは、図書などの特集展示、絵本の読み聞かせ、映画会、CDコンサートなどのイベントを実施した。なお、改修による設備や椅子・テーブル等の備品については、札幌市に指定寄付した。

**【実績】** ちえテラス映画会8回91名（再掲）

CDコンサート8回69名（再掲）

絵本の読み聞かせ4回127名

**イ 視聴覚センター管理運営事業**

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

**(a) 視聴覚教材の貸出**

市内の学校、町内会やサークルなどに、16ミリフィルム（保有数3,065本）・ビデオ（保有数6,501本）・DVD（保有数1,327本）などの貸出を行った。また、自主制作教材をホームページ上でも見ることができるデジタルアーカイブスとして提供した。

**【実績】** 教材貸出数1,997本（前年度2,767本）

機材貸出数215台（前年度354台）

デジタルアーカイブスアクセス数167,102件（前年度108,455件）

**(b) 学習教材の制作**

学校教育、社会教育関係者に依頼して地域を主題とした教材を制作するとともに、教材制作を行う教職員などへの助言・技術指導を行った。

また、前年度に制作した教材のうち1作品が全国自作視聴覚教材コンクール（一般財団法人日本視聴覚教育協会主催）で優秀賞を受賞し、1作品が入選した。

**【実績】** 新規制作教材数4本（前年度4本）

平成28年度全国自作視聴覚教材コンクール入選作品

<社会教育部門> 優秀賞「受けつがれる伝統 里塚小唄物語」

<小学校部門> 入選「玉ねぎ農家をたずねよう」

**(c) 視聴覚操作技術等講習会**

**① ビデオ制作ワークショップ**

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み

期間中にワークショップを実施した。

**【実績】 4回50名（前年度4回51名）**

② 中学校校内放送コンテスト

札幌市中学校放送教育研究会との共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

**【実績】 7/17(日)12校（前年度12校53名）**

アナウンス部門6名（前年度6名）

朗読部門35名（前年度27名）

テレビ番組部門2作品（前年度2作品）

ラジオ番組部門2作品（前年度3作品）

③ 中学校校内放送技術講習会

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

**【実績】 2回18校55名（前年度2回22校81名）**

8/16(火)12校44名

1/28(土)6校11名

## II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

### 4 科学及び科学技術普及振興事業

#### (1) 科学に関する教室・講座

##### ア 科学教室

##### (a) 日曜実験室

小・中学生を対象に、身近な題材や現象を取入れた実験教室を日曜・祝日に実施した。

【実績】66回753名（前年度63回841名）

4月～6月「とける溶ける謎が解ける」17回304名

7月～10月「顕微鏡で調べてみよう

あなたも、生き物マイスター！」23回197名

11月～2月「気体に期待

～いろいろな気体の性質を調べよう～」21回173名

3月「シジミのヒミツ?!～生きている様子を観察しよう～」5回79名

##### (b) サイエンジャー科学教室

主に土曜日と夏・冬休み期間中に小・中学生を対象に、テーマや実演方法を工夫した工作・実験教室などを実施した。



【実績】17回307名（前年度20回275名）

7/9(土)「ROBOLABプログラミング教室」(主催：日本IBM(株))29名

7/26(火)・27(水)「夏休み特別編お水でマジック」

(協力：北海道小学校理科研究会)4回121名

10/8(土)「音であそぼう」2回9名

10/29(土)「手づくり乾電池教室」(協力：(一社)電池工業会)2回19名

11/5(土)「科学的に考えるトレーニング」1回7名

11/26(土)「飛行機はなぜ飛べるか」1回22名

1/11(水)・12(木)「冬休み特別編熱(ねっつ)！アツアツ大実験」

(協力：北海道小学校理科研究会)4回56名

2/25(土)「ROBOLABプログラミング教室」(主催：日本IBM(株))1回35名

2/26(日)「地球の自転とフーコーのふりこ」1回9名

(c) 親子科学教室

親子で参加する実験・工作教室を実施し、来館やイベント参加へのきっかけづくりとした。

【実績】4回45組87名（前年度3回39組82名）

10/15(土)「トライサイエンス～探査機を宇宙に送ろう～」2回25組43名

3/4(土)「葉脈標本をつくろう」2回20組44名

(d) 科学館の工作室

＜小中学生向け＞

日曜・祝日に小中学生を対象に、科学の原理を盛り込んだ簡単な工作教室を実施した。

今年新たに様々な工具を使用して題材をアレンジできる「アイデアをカタチにする工作会」を実施したところ、多くの親子に参加いただき好評を得た。

【実績】168回1,481名（前年度171回1,384名）

「さくらスコープ」「こいのぼり凧」「ケロちゃんのなわとび」ほか

＜夏休み工作会＞

自由研究を支援するため、小中学生の夏休み期間に合わせて「夏休み工作会」を実施した。

【実績】7/24(日)、7/30(土)～8/2(火)、8/5(金)～8(月)、

8/11(木・祝)～14(日)、8/21(日)

14日間56回880名（前年度12日間60回1,267名）

「ちょうちょうのダンス」「ビー玉パターゴルフゲーム」

＜冬休み工作会＞

自由研究を支援するため、小中学生の冬休み期間に合わせて「冬休み工作会」を実施した。

【実績】1/6(金)～9(月・祝)、1/12(木)～15(日)、1/22(日)

9日間36回708名（前年度11日間44回766名）

「パニック！コッコちゃん」「冬のテレビ塔」

＜土曜工作会＞

小学4～6年生（高学年）を対象に、ものづくりや科学技術に対する興味関心を高めるため、より高度な内容の工作会を行った。

【実績】3回27組82名（前年度2回39組98名）

7/2(土)「AMラジオを作ろう！」1回27組50名（前年度2回39組98名）

（両主催：日本無線(株)北海道支社）

12/17(土)「電子回路で作る！ストロボスコープ」2回32名

（共催：北海道大学大学院理学院博物館教育・映像学研究室）

(e) 大人のための天文教室

初心者や中級者向けなど参加者の理解度に合わせて難易度を設定し、天体観測機器を活用した天文教室を実施した。

① やさしく学ぶ星空教室

初心者向けに、季節の星座や星座早見盤の使い方などを学ぶ基礎的な天文教室を実施した。

【実績】2回全6日37名（前年度2回全6日37名）

② 詳しく学ぶ天文講座

中級以上を対象に、少し専門的な内容を盛り込んだ天文講座を実施した。

【実績】2回全8日61名（前年度2回全8日54名）



(f) 親子天文教室

親子で楽しみながら基礎的な天文知識を身につけ、天体への興味・関心を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象に、天体方望遠鏡作成などの工作教室を実施した。

【実績】5回131組302名（前年度6回119組277名）

7/23(土)～24(日)

「天体望遠鏡をつくろう」2回 65組 148名

1/7(土)～9(月・祝)

「簡単惑星儀をつくろう」3回66組154名



(g) 宇宙セミナー

第一線で活躍する専門家を招き、最新の天文情報に基づく講座を実施した。

【実績】3回319名（前年度1回138名）

6/18(土)「佐治晴夫先生講演会

～ダークユニバース」講師：佐治晴夫氏 186名

9/10(土)「はやぶさ2からCAMUIハイブリッドロケットまで」

講師：寺園淳也氏・永田晴紀氏 63名

3/25(土)「民間月面探査HAKUTOの挑戦」

講師：秋元衆平氏・友田孝久氏 70名



(h) 先端科学技術講座

常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会を実施した。

【実績】2回216名（前年度2回272名）



7/16(土)「山崎直子宇宙飛行士特別講演会

～宇宙の仕事をしてみたい!～」講師：山崎直子氏 155名

12/3(土)「自然を探る～陸生プランクトンの分布を例として～」

講師：元札幌旭丘高校校長 守屋開氏 61名

(i) 中高生による科学教室

中学校・高校の科学部などの生徒が研究の成果を発表し、互いに交流する場を提供するとともに、一般参加者も参加・体験できる科学教室を実施した。

【実績】12/3(土)参加校6校47名16テーマ

(前年度 参加校10校120名31テーマ)

(j) 大学生による科学教室

大学生の研究実践の場を提供するとともに、子どもたちの科学への興味関心を高めるため、大学生が小中高生を指導する科学教室を実施した。

【実績】3回48名 (前年度2回44名)

2/11(土・祝)「知ろう!センサの仕組み」(札幌市立大学)5名

2/18(土)「大学生が教えるロボット相撲講座」(北海道科学大学)25名

2/18(土)「発電とコンデンサのはたらき」(千歳科学技術大学)18名

イ 出前イベント

(a) 移動科学館

普段の授業では困難な実験を学校へ出向き実施し、理科の授業を支援した。

【実績】9校538名 (前年度14校899名)

「小学5年生 電気と磁石は親戚!？」

9/30(金)南の沢小学校5年生82名

10/7(金)開成小学校5年生88名

10/14(金)本町小学校5年生52名

10/28(金)東苗穂小学校5年生38名

11/11(金)あやめ野小学校5年生32名

11/18(金)豊園小学校5年生78名

11/25(金)鴻城小学校5年生46名

12/9(金)資生館小学校5年生74名

12/16(金)澄川南小学校5年生48名



(b) 出前サイエンス

＜幼児のための出前サイエンス＞

就学前の子どもたちが楽しみながら科学に慣れ親しむことができるよう、幼稚園へ出向き、遊びの要素を



多く取り入れた実験・実演・工作教室を実施した。

【実績】6園703名（前年度13園1,580名）

10/6(木) 藤ヶ丘幼稚園・藤ヶ丘保育園合同75名

10/13(木) 手稲育英幼稚園103名

10/20(木) インターナショナル山の手幼稚園164名

10/27(木) 宮ノ丘幼稚園180名

11/10(木) 新琴似育英幼稚園115名

11/17(木) もなみ幼稚園66名

#### <公共施設など>

他の公共施設などで行われる青少年向けイベントに出向き、サイエンスショーや工作教室などを実施した。

【実績】3回4,135名（前年度5回3,991名）

7/17(日) 「青少年のための科学の祭典in北海道2016」700名

9/10(土) 「青少年のための科学の祭典in石狩」1,060名

9/11(日) 「余市宇宙記念館おもしろ宇宙教室」2,375名

#### (c) 移動天文台

学校や町内会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、望遠鏡等での天体観測や星空解説などを行う観望会を実施した。

【実績】46回3,436名（前年度37回3,676名）

6/1(水)～1/29(日)

星観緑地、もみじの森小学校など



#### (d) 移動プラネタリウム

地理的・時間的に来館困難な小学校などへ出向き、移動式のプラネタリウムを利用した学習投影を行った。

また、移動プラネタリウムを幼稚園やその他のアウトリーチ活動に活用した。

【実績】幼稚園8園16回490名（前年度15園30回958名）

小学校11校26回775名（前年度5校12回418名）

中学校2校10回320名



#### (e) 移動プラネタリウムを用いた学習投影シナリオ作成に関わる会議の開催

移動式のプラネタリウムを用いた小学校4年生・6年生、中学校3年生の学習投影について、北海道小学校理科研究会及び北海道中学校理科教育研究会に協力いただき、シナリオ作成のための会議を主催した。

【実績】小学校4年生4回、小学校6年生4回、中学校3年生6回

## ウ その他科学普及に関する事業

### (a) 札幌科学クラブ（Sciキッズ）運営

リピーターの拡大をはかるため、小中学生を対象に会員を募り実験教室などを行った。また、会員向けのメールマガジンの発行や各種イベントへの参加回数に応じ特典を付与し、所定のポイント取得限定の特典イベントを実施した。



**【実績】** 会員76名（新39名、更新37名）（前年度 新規23名、更新39名）

5/14(土) 入学式

6/12(日)「あじさい祭り～カラフルアンモナイトを作ろう！～」33名

7/10(日)「北海道博物館『ジオパークへ行こう！』見学会」19名

（共催：北海道博物館）

7/18(月・祝)「夏の特別展バックヤードツアー」21名

9/10(土)「円山動物園生き物調査隊！」9名（共催：札幌市円山動物園）

12/23(金・祝)「冬の特別展バックヤードツアー」11名

2/25(土) ポイントシール獲得者限定イベント「ミニ工作」2名

3/5(日) さくら祭り30名

3/25(日)特典イベント「ちょびっとサイエンス体験」2名

### (b) 職場体験などの受入れ

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、職場体験実習生を受け入れ指導した。

**【実績】** 13校42名（前年度13校53名）

札幌中学校、白陵高等学校、北星学園大学社会福祉学部 他

### (c) 実験実習セット貸出

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出すとともに、観察資料用の微生物を提供した。

**【実績】** 貸出18団体45セット（前年度 貸出22団体45セット）

### (d) 教員研修

教材研究に協力するとともに、授業や部活動に生かせる観察・実験の紹介や実習を行う教員研修を当科学館において実施した。学校教育との連携を深め、より授業実践に生かせる内容となるよう充実を図った。

**【実績】** 6回145名（前年度6回49名）

6/16(木) 当別・新篠津教育研究協議会4名

8/3(水) 札幌市教育センター研修 小学校実験（気象）35名

8/5(金) 札幌市教育センター研修 小学校実験（天文）48名

8/17(水) 札幌市教育センター研修 小学校実験（電気）26名

1/6(金)札幌市教育センター研修 小学校実験(水溶液) 15名

1/13(金)札幌市教育センター研修 小学校実験(生物) 17名

(e) 教員のための博物館の日in札幌(主催:独立行政法人国立科学博物館)

北海道開拓の村で行われた、教員対象の博物館施設の学校利用促進イベントに参加し、当館の学校支援の取組みを紹介した。

【実績】7/29(金)12名(前年度41名)

(f) 4次元デジタル宇宙シアター

国立天文台が開発したシミュレーションソフトMitakaを利用した映像を上映した。なお、上映にあたっては天文指導員が解説を行った。

【実績】2/11(土・祝)~12(日)、18(土)~19(日)28回1,277名

(前年度56回2,430名)

(g) 家庭教育学級への協力

家庭教育学級からの協力依頼が無かったことから、実施しなかった。

(h) ちびっこワークショップ

主に未就学児の親子を対象に、遊びの要素を取り入れた体験型教室や工作、実演などを行った。

【実績】7回1,221名(前年度6回1,948名)

6/11(土)「カラーペンのへんしん☆おえかき」139名

9/24(土)「紙コップロケットをつくろう!」75名

11/12(土)「スペシャル~家族でサイエンス~」385名

11/13(日)「スペシャル~家族でサイエンス~」313名

1/28(土)「読んでみよう!布絵本」45名(協力:ふきのとう文庫)

1/29(日)「読んでみよう!布絵本」44名(協力:ふきのとう文庫)

2/5(日)「サイエンスショースペシャル」220名

(i) 博物館実習の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得のための博物館実習生を受入れ、指導した。

【実績】3校4名(前年度6校7名)

(前期)8/1(月)~8/12(金)東海大学1名

(後期)8/28(日)~9/11(日)札幌学院大学1名、

北翔大学2名

(j) 北海道新聞生活情報版「さっぽろ10区(トーク)」原稿執筆

(株)北海道新聞社の委託を受け、北海道新聞生活情報版「さっぽろ10区」のコーナー「今週の星空」の原稿を執筆した。

【実績】9/6(火)より毎週火曜日(計27回)

(k) 望遠鏡工作会における講師の派遣

厚別西地区センターからの依頼により、当館より望遠鏡工作会の講師を派遣し、参加者への指導を行った。

【実績】9/22(木・祝)20名

エ 共催事業・協力事業

(a) 札幌市中学校「私たちの科学研究発表会」

中学校の科学部や選択教科・総合的な学習の時間等の科学研究活動の成果発表のために開催される中文連発表会に協力した。

【実績】11/5(土)・11/6(日)

(b) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催：(一財)日本宇宙フォーラム)

宇宙の日(9月12日)を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品を募集し、審査・表彰を行った。

【実績】応募数 作文：小学生9名 中学生3名

絵画：小学生194名 中学生42名

(前年度 作文：小学生7名 中学生8名 絵画：小学生44名 中学生11名)

(c) 札幌市創意くふう作品展(主催：札幌市創意工夫教育研究会他)

小中学生の自由研究などの審査及び作品展示の会場提供を行った。

【実績】9/17(土)・18(日)展示数84点、応募数431点

(前年度展示数82点、応募数288点)

(d) 北海道青少年科学技術振興作品展(主催：北海道発明工夫教育連盟他)

道内の小中学生が自由研究などで制作した作品の展示(入選作品)とその表彰式の会場を提供した。

【実績】11/26(土)～27(日)展示数125点、応募数125点

(前年度展示数133点、応募数133点)

(e) 夏休み天体観望会(共催：(公財)さっぽろ青少年女性活動協会)

光害の少ない定山溪自然の村において、星雲や流星など明度が低い天体を見る観望会を実施した。

【実績】8/12(金)192名(前年度150名)

(f) さっぽろ星まつり

(共催：さとみらいプロジェクトグループ)

さっぽろさとらんどにおいて、天体観望会・太陽観望会・Mitaka(宇宙シアター)実演などのイベントを実施した。

【実績】9/3(土)・4(日)2日間4,100名

(前年度2日間4,200名)



(g) 他団体との連携による科学教室

企業や研究団体からの応援を得て、通常では実施が困難な専門的な内容の科学教室を実施した。

【実績】5回107名（前年度6回394名）

6/25(土)「親子メカトロ教室～走れ！ロボットカー～15組30名

（共催：(一社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門）

8/10(水)「みんなのプログラミング教室」19名

（共催：(一社)みんなのコード北海道支部）

9/18(日)「夢未来宇宙学校から目指せ未来の宇宙科学者！」27名

（共催：札幌商工会議所）

11/6(日)「マイコンレーサー講習会～上級編～」16名

（主催：北海道ロボット教育推進会）

11/20(日)「第2回マイコンレーサー北海道大会」15名

（主催：北海道ロボット教育推進会）

(h) ミュージアムキッズ！全国フェア（主催：こどもひかりプロジェクト）

東日本大震災で被災した子どもたちを対象に、全国の博物館・科学館・美術館・水族館などの社会教育施設が様々な体験プログラムを提供するプロジェクト（事務局：兵庫県立人と自然の博物館内）が開催したイベント（宮城県仙台市）に参加した。



当館は「北方圏」をテーマに、CISEネットワークと道立オホーツク流氷科学センターなどの協力を得て、雪や氷に関する展示やワークショップを行った。

【実績】6/25(土)・26(日)2日間6,300名

(i) 札幌市立大学との連携

同大学の学生の研究発表の場として、当館を会場にワークショップ等を主催した。なお、講座の企画や運営方法について当館の職員が指導した。

【実績】7/3(日)「立体お面工作スタジオ」2回12名

10/29(土)・30(日)

「話題の3Dプリントペンやプレイフォームで遊ぼう！」8回80名

11/20(日)「「音」わーくしょっぷ」1回20名

(j) 宇宙開発機器等を用いた連携（協力：北海道大学大学院理学院）

1階エントランスに北海道大学の開発した宇宙開発機器等を展示し、開発者の講演を行った。

【実績】7/7(木)～ 宇宙開発機器の展示

8/14(日)北海道大学宇宙情報コーナーロビートーク 20名

(k) 厚別区瑞穂大学の受入れ

地域との連携を深めるため、市内の高齢者大学の見学授業を受け入れた。

【実績】8/2(火)40名

(l) 親子工場見学会（共催：（一社）セメント協会）

子どもたちに科学技術と産業、実生活のつながりを学ぶ取組として、セメント協会と連携して、室蘭にあるセメント工場を見学するバスツアーを実施した。

【実績】8/4(木)19組38名

(m) 北海道札幌啓成高等学校との連携

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校である同校が、SSHの活動に基づく理数教育活動の普及啓発を目的に実施したイベント「啓成SSH in 光の広場」に協力した。具体的には当館天文係職員から事前に望遠鏡の使い方や、デジタル宇宙シアター「M i t a k a」の使用方法などのレクチャーを受けた高校生が、市民の前で望遠鏡体験会や「M i t a k a」の上映会を実施した。

【実績】9/24(土)80名

(n) ジオフェスティバル in Sapporo

（主催：ジオフェスティバルin Sapporo実行委員会）

学校・行政・民間企業等が一堂に会し、地球科学に関連した実験や展示を行うことで地球のメカニズム等を学ぶ機会を提供した。



【実績】10/1(土)1,976名（前年度4,552名）

(o) サイエンス〇〇（動物園科学の日）（共催：札幌市円山動物園）

円山動物園を会場に、動物に関連したサイエンスショーや実験ブースを展開し、人や動物、自然とのつながりを科学的に学ぶ機会を提供した。

【実績】10/8(土)・9(日)8,603名（前年度5,626名）

(p) かるちやるnet（文化施設連絡協議会）

当館も所属する、新札幌と江別に立地する文化施設で構成される上記協議会（かるちやるnet）が行う各施設の紹介や各種ワークショップ等に参加した。

【実績】7/16(土)～8/21(日)

「てくてく、ぺったん！かるちやるスタンプラリー★」参加者7,235名

10/16(日)「発見・体験 文化の秋」（会場：サンピアザ光の広場）

当館イベント参加者60名（前年度120名）

11/20(日)「かるちやるガーデン」（会場：紀伊国屋札幌本店）

当館イベント参加者101名（前年度80名）

3/25(土)～4/9(日)

「てくてく、ぺったん！かるちやるスタンプラリー★」参加者1,286名

(q) CISEネットワーク

当館も所属する、札幌周辺の社会教育施設等で構成される「CISEネットワーク」が行う各種講座やワークショップに参加した。

【実績】12/10(土)「ヒグマの科学」6名

2/4(土)「恐竜の科学」17名

1/21(土)～22(日)第5回CISEサイエンス・フェスティバル

in チカホ(会場：地下歩行空間) 9,441名

(r) 新さっぽろ冬まつり

新さっぽろ駅周辺の冬場のにぎわいづくりを目指した厚別区が実施する「新さっぽろ冬まつり」の協力事業として、館内エントランスにて液体窒素を使ったサイエンスショーを実施した。

【実績】1/28(土)～29(日)80名(前年度202名)

(s) 北海道科学英語発表会

科学技術系人材の育成及び学校教育との連携推進を目的に、札幌啓成高校(SSH指定校)と北海道教育委員会と連携し、道内の高校生が理科や科学に関する研究内容を英語でポスター発表する交流会(発表内容は一般公開)を行った。

【実績】3/11(土)

参加校16校、高校生161名、留学生33名、教員55名、その他46名

(t) まちなかコンサート～厚別区～

(札幌文化芸術交流センターとの連携事業)

未就学児や小学生を対象に、サイエンスショーや、札幌フルート協会会員によるフルート演奏を通して、音楽や音を科学的に捉える取組を実施した。



【実績】3/19(日)「ゆりかごコンサート」165名、「オンガク×カガク」158名

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文指導員の養成

天文に興味をもっている学生や一般市民を対象に会員を募り、定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】登録者数33名(新規11名)(前年度登録者数45名)

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学技術に関する資料の収集

(a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の解説や更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。職員の参考資料にするとともに、科学系雑誌などは、学習コーナーにて閲覧できるようにした。

## (b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、自ら撮影した、観測天体写真などの資料を1階エントランスにて閲覧できるようにした。なお、撮影した天体写真はインターネットを通じて公開した。

## イ 科学情報の提供・学習支援

### (a) 「星空散歩」発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内公共施設などで配布した。

**【実績】** 6回発行(4月、6月、8月、10月、12月、2月)計54,000部発行

(前年度6回52,500部)

### (b) 天文相談コーナーの運営

天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナーを設置し、土曜日を中心に、職員や天文指導員が直接来館者の天文相談に対応する時間を設け、市民の天文学習を支援した。

### (c) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。

**【実績】** ホームページアクセス数337,667件(前年度304,602件)

## 5 青少年科学館等管理運営事業

### (1) 展示関連事業

#### ア 科学館展示

##### (a) 常設展示

見て・触れて・考えるをテーマにした、天文・地球科学・北方圏・電気・力学などの200点を超える展示物を適切に管理するとともに、来館者への解説なども交えながら子どもたちに科学への興味・関心を深めてもらった。

また、北方圏の科学館としての特徴を生かした、人工降雪装置や低温展示室などの実演を行うとともに、展示物の操作方法や学習ポイントを紹介する解説パネルを増やすなどして、展示解説の充実を図った。

##### (b) 展示実演等

###### ① サイエンスショー

来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味・関心を深めてもらえるよう、不思議な現象の紹介や楽しい実験などの実演ショーを行った。

**【実績】** 767回19,299名(前年度728回17,443名)

「化学の不思議!!この色、へんか?」ほか

## ② テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】3回/日（前年度3回/日）

## ③ 低温展示室公開

-10℃に設定した部屋の中に雪や氷の性質が分かる展示を行った。

なお、観測船「しらせ」から寄贈された南極の氷の展示も行っていたが、一部冷凍機の故障により室内の温度が維持できなくなったことから、7月から公開を中止した。代替えの展示実演として「復氷実験」と「氷だらけの実験～氷はもうこりごり～」と題した氷に関するワークショップを実施した。

【実績】3回/日（前年度3回/日）

## ④ ちょびっとサイエンス

展示室の入口で、簡単な科学体験や実演を行った。

【実績】114回8,426名（前年度80回6,261名）

## ⑤ その他

来館者が多く訪れる時期に、常設の展示や実演以外にも、職員が企画した実演等を実施した。

【実績】

5/21(土)「スペシャルサイエンスショー 超能力!?を科学する」2回180名

7/23(土)～8/21(日)（7/28、8/17を除く）

「夏特わくわくサイエンスショー」56回4,981名

8/5(金)～21(日)「カガクカンピック2016」(展示物ラリー)832名

1/6(金)～22(日)「冬特サイエンスショー」30回697名

## (c) 実験・実習への協力

市内の小学校を対象に、「サイエンスホール」で、4年生は「空気」、6年生は「水溶液」に関する実験を行った。

また、学習プログラムの開発のために団体利用の幼稚園を対象にした幼児向け学習サイエンスショーを試行的に実施した。

さらに、特別支援学級や授業の単元に合わせたプログラムを実施した。

【実績】21校1園24回1,662名（前年度3校1団体174名）

学習サイエンスショー19校1,564名

円山小学校4年生、もみじの森小学校6年生ほか

幼児向け学習サイエンスショー1園33名 麻生保育園

その他2校65名 発寒中学校1年生・環境プログラム

西岡中学校特別支援学級1年生・空気の実験

## イ 特別展等

### (a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催した。実施にあたっては大学や企業などの関係機関と連携し、講演会やワークショップ、サイエンスショーなどをおりませながら体系的なプログラムで実施した。



具体的には、夏は、むかわ町穂別で発見されたハドロサウルス類の恐竜化石をテーマした特別展を企画し、道内の恐竜発掘の取組みを紹介した。実施にあたっては、北海道博物館、むかわ町穂別博物館と共催し、広報協力や展示物の充実を図るとともに恐竜についての講演会を行った。



冬は、「みる」をテーマに、ミクロの世界にスポットを当て、顕微鏡などを通して様々な物を見ることで感じる驚きや感動を伝えることを目的とした。実施にあたっては、北海道大学総合博物館などのほか、資生堂や日立ハイテクノロジーなどの企業の協力を得て展示内容の充実を図った。

春はお祭りの雰囲気の中、14の実験ができる屋台ブースで様々な科学体験をしてもらう特別展を実施した。

#### 【実績】

「大発見！北海道恐竜展【ハドロサウルス類の進化の謎に挑戦】」

7/23(土)～8/21(日)30日間54,257名（前年度30日間58,027名）

#### <関連イベント一覧>

日程	事業名	参加者数
7/28 (木)	特別講演会第1弾 「恐竜博士になりたい！」 北海道大学総合博物館准教授小林快次氏	83名
8/3 (水)	学芸員さんのミニトーク① 「恐竜時代の海の生物アンモナイトのフシギ」 北海道博物館学芸員栗原憲一氏	35名
8/12 (金)	学芸員さんのミニトーク② 「北広島市の象化石とマンモスゾウ復活プロジェクト」 北海道博物館学芸員添田雄二氏 北広島市エコミュージアムセンター学芸員畠誠氏	20名
8/17 (水)	特別講演会第2弾 「むかわ町穂別で化石大発見！」 むかわ町穂別博物館学芸員西村智弘氏	48名
毎日	カラフルアンモナイトレプリカづくり	60回 737名

毎日	博物館・科学館・水族館クイズラリー	—
毎日	夏特わくわくサイエンスショー（テーマ：恐竜）※再掲	56回 4,981名
毎日	北海道博物館サテライト展示 同館所蔵のアンモナイト化石（実物）やマンモスの歯の化石（レプリカ）を展示した。	—
ほぼ毎日	ちょびっとサイエンス※再掲 通常行っている事業を恐竜をテーマにして実施	17回 2,320名

「小さな世界をみてみたい！～ワクワク・ドキドキ、ミクロの世界～」

1/5(木)～22日(日)18日間14,608名（前年度13日間10,725名）

<関連イベント一覧>

日程	事業名	参加者数
1/5 (木)	特別講演会① 「生物に学ぶデザイン、凄いぞバイオミメティクス！」 北海道大学総合博物館副館長大原昌宏氏	2回 80名
1/7 (土)	特別講演会② 「石が好きになる～鉱石の魅力発見～」 地図と鉱石の山の手博物館理事内山幸二氏 学芸員櫻間静恵氏	2回 108名
1/14 (土)	ワークショップ① 「光る細胞カプセルをつくろう！」 北海道大学CoSTEP	4回 50名
1/15 (日)	特別講演会③ 「ミクロな折り紙が命を救う～ステントグラフト（人工血管）と再生医療への応用～」 北海道大学新渡戸カレッジ特任准教授 繁富香織氏	2回 85名
ほぼ毎日	ワークショップ② 「ミニミニ顕微鏡づくり」	18回 164名
ほぼ毎日	ワークショップ③ 「砂のプレパラートづくり」	18回 163名
ほぼ毎日	サイエンスショー 「生き物ってすごいでショー！」	30回 697名

「春だ！わっしょい！科学館まつり2017」

3/25(土)～4/9(日)16日間27,176名（前年度9日間14,573名）

(b) 巡回展及び企画展

ゴールデンウィークなど期間限定で行うイベントを実施した。

① ゴールデンウィークイベント

「親子で楽しめる科学館」をテーマに、簡単な工作や知育玩具の体験コーナー、科学技術振興機構提供の映像番組の上映を行った。

【実績】4/29(金・祝)～5/5(木・祝)7日間19,541名

② 北海道大学宇宙情報コーナーの設置（共催：北海道大学大学院理学院）

北海道大学が所蔵する宇宙観測機器モデル及び機器に関するポスターなどを1階エントランスロビーに展示した。

### ③ 北海道博物館のサテライト展示

北海道博物館と連携し、アンモナイト化石の展示や北海道沿岸にうちあげられた漂着物の展示など、同館の特別展や企画展と連動した展示を行なった。これにより自然史や古生物、環境問題等の分野の充実が図られた。

【実績】7/23(土)～10/2(日)、10/4(火)～11/27(日)

### ④ 「北広島マンモス」展示

北広島市エコミュージアムセンターと連携し、北広島市のマンモスゾウ復活プロジェクトで作成したマンモスゾウの実物大模型を展示するとともに、その取り組みを紹介したパネル展示を行った。



【実績】11/22(火)～12/11(日)

### (c) バックヤードツアー

特別展の設営の様子や、展示室の裏側など、普段見ることの出来ない部分を見学するツアーを実施した。

【実績】3回60名（前年度3回47名）

7/18(月・祝)「夏の特別展バックヤードツアー～」2回49名

※内1回はSciキッズ会員限定イベント

12/23(金・祝)「冬の特別展バックヤードツアー」1回11名

### (d) 中高生によるサイエンス広場

中学校や高校の科学部の生徒たちが多様な科学実験を体験できるよう、団体の科学体験ブースを多数設けたイベントを開催した。

【実績】9/3(土)参加4校61名（中学校3校、高校1校）

（前年度参加5校93名（中学校4校、高校1校））

### (e) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境への取り組み事例を体験型ブースで紹介するイベントを実施した。

【実績】10/22(土)～23(日)出展13団体、2日間2,771名

（前年度出展15団体、2日間3,878名）

## (2) 天文関連事業

### ア プラネタリウム投影・解説

#### (a) 一般投影

職員が、各回の観望者の年齢層にあわせた内容や話し方を工夫した生解説を行うなど、観望者に分かりやすく星座や天文知識を紹介した。

【実績】1,482回120,549名

（前年度900回68,206名※H27.11.1までの実績）

(b) 学習投影

小中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。必要に応じて移動プラネタリウムも活用した。

【実績】269校132回19,126名

(前年度 251校112回16,796名 ※H27.11.1までの実績)

移動プラネタリウムによる学習投影 13校36回1,095名

(前年度 5校12回418名)

(c) プラネタリウム内での絵本の読み聞かせ

(共催：ワンダーサーカス読み聞かせフェスティバル実行委員会)

プラネタリウム番組「ほしをつかまえたおうじ」を上映した。原作者のそら氏等と連携し、プラネタリウム及び3階サイエンスホールにて絵本の読み聞かせ及び音楽ライブを行った。

【実績】7/31(日)プラネタリウム 161名

サイエンスホール 75名

(d) 札幌北高等学校定時制4学年向け夜間プラネタリウム投影と天文講話

定時制高校の生徒に対し、閉館後の夜間に、宇宙や天文に関する学習機会を提供した。

【実績】10/26(水)36名

(e) プラネタリウム利用者10万人達成イベント

プラネタリウムのリニューアル後の利用者が10万人を達成する日を予想するクイズや、10万人目の利用者への記念品贈呈を行った。

さらに10万人達成後、先着1,000名に記念品を配布した。

【実績】イベント実施日 10/29(土)



(f) J P A (日本プラネタリウム協議会)

北海道プラネタリウムネットワーク研修会 in 札幌

プラネタリウムが更新されたことを契機に、当館を会場に全道のプラネタリウム施設運営者などによる研修会を行った。

【実績】11/14(月)33名

(g) S N O W M I K U 2017 × プラネタリウム

札幌市が後援する「SNOW MIKU 2017」の時期に合わせ、当該イベントのキャラクター「雪ミク」の映像コンテンツを含む特別プラネタリウム及びスタンプラリーを実施した。

【実績】2/1(水)～2/26(日) ※休館日除く

プラネタリウム23回2,148名(「一般投影」を含む)

2/7(火)～2/12(日) スタンプラリー400名

(h) オート番組制作

一般投影時に用いる、小学生向けのプラネタリウムオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を制作・購入した。

【実績】「おかしなお菓子なあまのがわ」(制作)

「銀河鉄道の夜」(購入)



イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

通常プログラムとは趣向を変え、旬の話題や現象について深く掘り下げ、天文に興味のある人にさらに深く、広く考えてもらえるような専門性の高い投影を行った。



【実績】9回1,423名

(前年度6回787名 ※H27.11.1までの実績)

6/4(土)「桜庭和プラネタリウムコンサート」173名

8/6(土)「星空博士になろう!」167名

9/17(土)「太陽系探査最前線」122名

10/8(土)「ロッキン ハロウィンナイト」110名

11/5(土)「キトラの星空を望む」142名

12/24(土)「成山剛プラネタリウムコンサート」160名

2/18(土)・19(日)「如月の札幌の夜 プラネタリウムにオーロラ満開」371名

3/18(土)「アロマプラネタリウム」178名

(b) イブニングプラネタリウム

プラネタリウムのリニューアルにより、多くの方の観覧希望が見込まれたため、リニューアル後の週末、祝日と5月の週末、祝日及びお盆休みの時期の閉館後に、イブニングプラネタリウムとして追加で投影を行った。

【実績】24回3,000名(前年度2回135名※H27.11.1までの実績)

※4/16(土)～5/29(日)の期間内の土・日・祝日及び

8/11(木・祝)～8/15(月)の各日、閉館後1番組を追加投影した。

(c) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人のために、字幕付きの投影を行った。

【実績】4回197名（前年度4回370名※H27. 11. 1までの実績）

11/11(金)・12日(土)

「科学戦隊サイエンジャー僕らもみんな宇宙人!？」2回91名

3/10(金)・11(土)「今日の星空」2回106名

(d) キッズプラネタリウム

未就学児と保護者を対象に、歌や動物探しを取り入れた特別なプラネタリウムを実施した。

【実績】2/14(火)・16(木)・21(火)・23(木) 4回326名（「一般投影」に含む）

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

① 科学館観望会

主に夜間のプラネタリウム上映に合わせ、科学館駐車場において移動天文車などを使った観望会を行った。

【実績】8回348名 ※11回中3回中止

（前年度6回332名※13回中8回中止）

(b) 札幌市天文台公開

専門的な解説や、天文台が所在している公園内に簡易看板を設置するなどし、天文台の利用促進を図ったところ、利用者数は前年度に比べ約7,500名増なった。

【実績】計640回18,738名（前年度638回11,154名）

午前304回8,867名、午後259回7,201名、夜間77回2,670名

（前年度午前304回4,574名、午後261回4,273名、夜間73回2,307名 計11,154名）



(c) 昼間の星を見よう！

科学館屋上天文台の60cm望遠鏡を用い、昼間の星を観望した。

【実績】47回636名（前年度105回1,562名

※H27はプラネタリウム休演時に実施回数を増やした）

エ プラネタリウム祭り

プラネタリウムの可能性や認知度を高めるとともにその魅力を広く市民に伝えるため、絵本の読み聞かせなど、科学以外のジャンルと組合せた内容のイベントを実施した。

【実績】12/3(土)・4(日)・10(土)・11(日)4日間3,109名（前年度2日間1,854名）

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小中学校に配布した。

また、地域への広報強化の一環として、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や、図書館などの社会教育施設にも配布した。

**【実績】** 12回総計28,176部 ※館内配布分は除く（前年度12回 総計25,500部）

#### イ 利用者などの声を生かす取組み

##### (a) 利用者アンケートの実施

開館中に来館者に対して施設利用に関するアンケートを実施した。展示物の見学・体験の為に並んでいる列の誘導・整理について意見が寄せられたことから、繁忙期は職員をできるだけ混雑する展示物周辺に配置し、横入りなどをしないように注意を促した。

**【実績】** 回答：休み特別展202名、冬休み特別展255名

（前年度 GW263名、夏休み特別展273名、冬休み特別展200名）

##### (b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催した。協議会では、特別展の内容や、他施設との連携について意見をいただいた。

**【実績】** 3回（前年度3回）

##### (c) 小学校連絡会の開催

市内の小中学校との連携の推進及び学校利用の促進を図るとともに、当館の事業の充実を図るために学校関係者との情報・意見交換を行った。児童だけではなく教員向けの事業の実施についてなどの提案をいただいた。

**【実績】** 1回（前年度1回）

##### (d) 中学校連絡会の開催

市内の中中学校との連携の推進及び学校利用の促進を図るとともに、当館の事業の充実を図るために学校関係者との情報・意見交換を行った。ホームページや展示物の活用方法についてのアドバイスをいただいた。

**【実績】** 1回（前年度1回）

##### (e) 子ども科学会議

科学館が立地する厚別区の小学校（15校）の4年生から科学館への要望などを伺い、様々な意見を運営に生かした。

**【実績】** 1回（前年度1回）

#### ウ 科学館感謝デーのイベントの開催

昭和56年10月の当館開館を記念して平成23年度より毎年10月の第1土曜日に実施しており、本年度も展示室及びプラネタリウムを無料開放した。

当日は、子どもによるJAZZコンサートや特別なサイエンスショー、館内の展示物を活用したサイエンスクイズラリーを行うなど、多彩なイベントを実施した。

**【実績】** 10/1(土)3,338名（前年度4,552名）

## **収 1 物品販売等事業**

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

### **(1) 売店の運営**

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者等への便益提供を目的とした売店事業を行った。

### **(2) 自動販売機の設置・販売**

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

### **(3) 飲食店の運営**

生涯学習センターの旧レストスペースをブックカフェスタイルに改修し、休憩・交流・生涯学習支援スペース「Chie Terrace (ちえテラス)」として、12月17日にオープンした。カフェ運営業務は公募により、タリーズコーヒージャパン(株)に委託した。

なお、カフェ事業者は、「Chie Terrace (ちえテラス)」において実施する生涯学習推進事業、情報発信等の各種コラボレーション事業に協力又は共催することを条件に運営している。

## **他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業**

(定款第4条第1項第5・6号に掲げる事業)

### **(1) 施設の貸与**

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールや各種研修室などを貸与した。

### **(2) 駐車場管理業務**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

なお、7月11日から11月16日まで、札幌市による駐車場路面改修工事が実施され、生涯学習センター管理部分(2階全面)の駐車スペースが利用できず、他の階を利用した。

### **(3) 施設管理受託業務**

札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザの警備、清掃業務を札幌市から受託し、実施した。

## 平成28年度 管理運営施設利用状況

## ● 札幌市青少年科学館観覧者数

		平成28年度			前年度 (平成27年度) ※プラネタリウムはリニューアルの為11/2～休演
			団体	合計(人)	
展示室	大人	97,744	11,517	<b>109,261</b>	100,918
	小人	105,501	40,942	<b>146,443</b>	146,871
小計		203,245	52,459	<b>255,704</b>	247,789
プラネタリウム	大人	63,583	5,782	<b>69,365</b>	34,918
	小人	47,034	26,276	<b>73,310</b>	52,979
小計		110,617	32,058	<b>142,675</b>	87,897
合計		<b>313,862</b>	<b>84,517</b>	<b>398,379</b>	335,686
1日あたりの観覧者数 (人)		1,418			1,195

## ● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		平成28年度	前年度対比	平成27年度
貸室(25室)	利用率(%)	<b>82.9%</b>	102.7%	80.7%
	利用人数(人)	<b>407,158</b>	110.6%	368,277
1日あたりの利用者数 (人)		1,173	110.6%	1,061

## ● メディアプラザ入場者数状況(※9/1～10/26 図書・CD貸出・閲覧休止)

項目	平成28年度	前年度対比	平成27年度
メディアプラザ入場者数 (人)	<b>208,855</b>	105.1%	198,648
一日あたりの入場者数(人)	602	105.2%	572

## ● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

項目	平成28年度	前年度対比	平成27年度
貸出本数	<b>2,212</b>	70.9%	3,121
デジタルアーカイブアクセス数	<b>167,102</b>	154.1%	108,455

## 平成28年度 管理運営施設利用状況

項目		平成28年度	前年度対比	前年度 (平成27年度)
ホール	利用率	73.3%	108.6%	67.5%
	利用人数	123,153	110.9%	111,098
講堂	利用率	73.5%	105.6%	69.6%
	利用人数	58,045	116.3%	49,890
大研修室	利用率	74.9%	103.3%	72.5%
	利用人数	29,761	117.4%	25,346
中研修室1	利用率	79.0%	109.4%	72.2%
	利用人数	17,599	110.8%	15,883
中研修室2	利用率	85.9%	97.9%	87.7%
	利用人数	16,517	93.1%	17,738
演劇スタジオ1	利用率	98.3%	100.6%	97.7%
	利用人数	17,052	150.8%	11,304
演劇スタジオ2	利用率	98.0%	102.7%	95.4%
	利用人数	9,001	127.2%	7,077
音楽スタジオ1	利用率	95.1%	99.1%	96.0%
	利用人数	7,709	109.0%	7,075
音楽スタジオ2	利用率	97.7%	98.8%	98.9%
	利用人数	8,614	114.6%	7,515
映像スタジオ	利用率	86.7%	110.9%	78.2%
	利用人数	11,365	113.3%	10,032

## ● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHS	DVD	合計
保有数	12,443	8,763	1,964	1,884	192	1,200	26,446
うち新着数	67	0	0	0	0	26	93

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 6 月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団